

令和元年度第3回補助金等審議会記録			記録者	財政課	場 所	本庁舎 第一委員会室
実施日	令和元年10月8日（火）		時間	午後1時15分から午後4時15分		
概 要 質 疑 等						
課等名						
事 業 名	質疑 番号	内 容			回 答 ま た は 措 置	
学務課 13:15～13:40						
神栖市教育ローン利子 補給金	1	平成30年度において新規で補助した件数と内訳を教えてください。			平成30年度の補助実績件数は27件です。内訳につきましては、約8割が大学に進学された方で短期大学，専門学校が2割程度です。	
	2	神栖市における大学等への進学率は把握されていますか。			当市における進学率につきまして、個別の統計等がないためお答えすることは難しいですが、全国の進学率データで申し上げますと、平成13年度で48.6％，平成30年度では57.9％となっております。神栖市における進学率の推移も同様であると推測しています。	
	3	神栖市にとってのメリットは何かありますか？国がやるべき施策だと思うのですが。			子育て支援の一環として行っており、将来、神栖市を担う人材として帰ってきていただければと思っています。市では就職説明会を実施するなど、地元就職してもらえよう取り組んでいます。	
	4	資金の返済はきちんとされていますか。			資金返済につきましては、金融機関が管理しております。市は金融機関から提出される書類をもとに利子分を補助しています。	
	5	終期が未設定となっていますが、例として利子補給の新規受付期間を5年で終了するなど、補助金を終わらせることは可能ではないですか。			現在のところ終期につきましては、設定しておりませんが、ご指摘を踏まえまして随時、見直しをしていきます。	
	6	課題として挙げている利子補給期間を検討していくとはどういったことですか。			正規の修学年数を補助をするうえで、例えば薬学部や獣医学部の学生は6年間修学したとすると、市の会計処理上、利子補給期間は最大で7年度分となりますので、修学期間分をカバーすることを課題として記載しました。	
	7	大学等を退学した場合には、当該年度中は利子補給はされますか？また、返済の義務はありますか。			市では在学証明書の提出を求め、修学状況を確認しており、修学実績に基づき利子補給の対象であるか判断しておりますので、退学された場合には、以降の補助をすることはありません。	

学務課 13:40～14:04			
教育振興補助金(小学校・中学校)	1	補助金としてではなく、学校の予算に組み入れた方が制度として良いのではありませんか。	補助の対象としている費用について、基本的には保護者が負担すべきものと考えており、保護者の経済的負担軽減のため、補助金として交付することが適当であると判断しています。
	2	補助金申請等の様式は市の指定ですか。	市の要項の中で様式について定めています。
	3	各学校から提出された補助金の実績報告書を確認しても、事業の成果に対する根拠が読み取れません。事業の効果や成果を根拠として明確に記載するよう指導し、市も補助対象者が行っている内容をもっと把握するべきだと思います。	
	4	なぜ近隣市よりも手厚く補助をしているのか。	子育て世帯を応援するためです。
	5	補助金実績報告書の諸経費に企画料金が記載されていますが、具体的な支出の内容を教えてください。	企画料金につきましては、旅行会社への支払う料金となります。こちらの費用は補助金の対象外としています。
	6	本補助金における補助対象と補助対象外の区別について教えてください。	要項の別表に記載しています。交通費や宿泊費を補助対象としています。
観光振興課 14:05～14:32			
観光プロモーション事業補助金	1	平成29年度及び平成30年度の決算は予算に対して少額ですが、補助金のニーズがなかったのではないかと。	平成29年度及び平成30年度につきましては、北海道でのPRブース等の出店を見送ったため、予算に対して決算額が少額となっています。ご指摘を踏まえ、関係団体と精査をしていきたいと考えています。
	2	予算積算の根拠についてお聞きたい。	北海道でのPRブース等の出店費用として約50万円、見込み分で10万円、その他経費として20万円の内訳で予算計上しています。今後の予算要求について、補助金減額の方で調整を検討していきますが、補助対象団体の範囲は拡大していきたいと考えています。
	3	観光資源の発掘が難しい状況で、ブース出店をしても効果がないのでは。インターネットを活用したPR方法を考えてみてはどうか。	民間の事例等も参考にしながら、ご指摘のとおり検討していきます。
	4	他課の取り組みになってしまうかと思いますが、特産品と連携した取り組みは企画できませんか。その方が盛り上がると思いますがいかがでしょうか。	平成30年度までは特産品と本補助金は1つの課で担当していましたが、組織改編で現在は2つの課に分かれていますので、特産品の担当課とも連携しながら事業展開をしていきたいと考えています。

文化スポーツ課 14:45～15:20			
神栖市文化協会補助金	1	市民芸術祭などで芸術の向上は図られていますか。	市民芸術祭を目標に会員の方が意欲的に出展作品の制作等を進めていくことで、生きがいづくりに寄与していると考えています。
	2	交付対象団体に対しての指示内容や評価内容を裏付けする資料を提供していただきたい。	資料を準備し、後日、送付します。
	3	文化協会の収入で雑入とはどういったものになりますか。	主な収入としまして、広告料になります。
	4	収支決算書の中で研修とありますが、具体的な内容を伺いたい。	先進地の事例などを視察しています。なお、研修費用については、補助対象外となります。
	5	今後を見据えた場合に会費収入を増やしていくことが必要だと思います。どういうお考えをお持ちか教えてください。	会費収入の件につきましては、課題として受け止めております。
障がい福祉課 15:22～15:40			
身体障害者手帳取得経費補助金	1	近隣の鹿嶋市、銚田市、行方市は補助制度がありませんが、神栖市が補助しなければならない理由をお聞きしたい。	障害のある方の経済的な負担軽減のため、支援が必要であると判断しているためです。
	2	手帳を取得された方の経済的なメリットを伺いたい。	重度の障害のある方に対しては医療費の減免を行っています。また、障害の等級にもよりますが、自動車税の減免制度などがあります。
	3	手帳を取得するにあたり、医師の診断書が必要だと思いますが、一番多い方でどれくらいの診断書を必要となったか教えてください。	これまでの実績ですと、一番多い方で2通となっています。
	4	手帳の取得に関するデータがあればお聞かせ願いたい。	平成29年度のデータで申し上げますと、市の人口に対して障害者手帳の所持者は3.68%となっています。

障がい福祉課 15:40～15:50			
社会福祉法人障害者 支援施設職員処遇改 善費助成金	1	当該補助金にかかる職員の業務時間を事前質問でお聞きしましたが、サービス向上のためにかかった時間はどれくらいですか？	サービス向上のために職員が従事した業務時間は約50時間となります。
	2	補助対象施設の収支決算書は貴課で把握されていますか。	各社会福祉法人から提出された収支決算書等につきましては、社会福祉課の法人監査Gで順次、確認をしています。当該補助対象者の書類については現在のところまだ確認はできていないとのことです。
障がい福祉課 15:50～16:05			
社会福祉法人障害者 支援施設整備利子補 給費助成金	1	経営基盤強化の説明がありましたが、ヒト・モノ・カネの観点からどこが課題として挙げられますか。	施設を建設する際に多額の借入が必要となりますので、課題としては資金調達です。なお、市は利子補給の支援をしています。
	2	補助金を交付している以上は、貴課で監査能力を持つべきではないか。補助金が適正であるか審査がきちんとできるよう改善をお願いしたい。	